



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

3月号

令和 8年 2月 27日

横浜市立境木小学校

校長 阿山 美香

境木小学校 HP

[ホーム - 境木小学校](#)

👉 [クリック!](#)

すきなこと

校長 阿山 美香

「さかいぎおすし屋さん」から、招待状が届きました。くるくる巻かれた折り紙を開くと、丁寧な文字と言葉が並んでいました。お寿司屋さんは1年生。開店は中休み。入店すると、早速

「いらっしゃいませ。何にしますか。」

と、上手な接客が始まりました。メニューからお寿司を選ぶと、折り紙寿司が渡されます。お寿司もお店でのやりとりも本物そっくり。料金も請求されました。これも折り紙のお金が用意されていたので、レジでの支払いは無事できました。おいしい、楽しいお寿司屋さんでした。営業は休み時間ですから、子どもたちのアイデアで始めたのでしょう。子どもたちは遊びが大好き。「さかいぎおすし屋さん」は、数日続くようです。

さかいぎおすし屋さんから
こうちよう先生へ
さかいぎ小学校に
さかいぎおすしさんが
できました。
これたらぜひきてください。
2月25日にやってくるよ。



「いらっしゃいませ。」

境木商店街のフェア・コーヒー店で接客しているのは4年生。「フェアプロ41」（総合的な学習）の取組です。2月のスペシャルセールに参加し、お店のスタッフの方々と一緒にセール用のコーヒー豆選定、ちらしのポスティング、豆のハンドピック・焙煎、商品販売、接客に取り組みます。店内には、子どもたちがこれまでに調べた世界最貧国やフェアトレードについてまとめたポスターも展示していただいています。教室を飛び出した学びが大好きな子どもたちです。本物の経験に緊張しながらも、興味関心のその先を自身で見つけることに挑戦している姿を嬉しく思います。そして、子どもたちを応援していただける境木のまちに、人に感謝です。

「ちょっとお時間いいですか。」

夕方、校長室を覗いたのは教職1年目の職員。授業プランを手にしています。物語づくり(国語)の相談でした。遅い時間でしたので、それまで悩んでいたのでしょう。「作文に苦手意識をもつ子も書きたくなるには」「物語を書くプロセスで大事にすることは」と、次々と質問が出てきます。その一つ一つに、「例えばね…。」と話していくと、自身の授業プランにびっしりとメモを書き入れ、

「ありがとうございます。また考えます。授業を見に来てください。」

と、颯爽と部屋を後にしていきました。子どもたちによりよい学びを提供したいという思い。そして、何よりも、目の前の子どもたちを大切にしたいという思いは、私たち教師のエネルギーです。子どもたちが好き、授業づくりが好き。境木小学校がそのような教師集団であることが実感できた嬉しい時間でした。

校庭では、風に揺れる菜の花とパンジーを子どもたちが眺めています。いよいよ3月。まもなく98名の6年生が境木小学校を卒業します。これまで子どもたちを温かく見守ってくださった保護者、地域、関係機関の皆さま、ありがとうございました。また、これまでの境木小学校の教育活動へのご理解・ご協力にも深く感謝いたします。今年度も残り少なくなりましたが、境木小学校 519名の子どもたちがそれぞれのよさを生かし、好きなことをたくさん見つけていけるよう、全教職員で努めていきたいと思ひます。

一年間、ありがとうございました。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。